

## 平成 29 年度国際理解ワークショップ進行シート

作成日： 2017 年 8 月 7 日

大 学 名： 新潟大学

タイトル： やさしい日本語で多文化共生

**1：本ワークショップの要旨**

日本で暮らす外国人が近年増加している現状を、いくつかのデータを示しながらクイズ形式で紹介する。そのなかで、多くの外国人が必ずしも英語を母語としないことに気づかせ、そうした外国人とのコミュニケーションのためにはどのような方法があるかを議論してもらおう。その後、最近では「やさしい日本語」が注目されていることを説明し、役所や災害時に使用される日本語の「やさしい日本語」への翻訳作業を行うことで多文化共生とは何かを考えてもらおう。

**2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)**

外国人とのコミュニケーションはかならずしも英語によるとはかぎらない。日本で暮らすほとんどの外国人が英語を母語としているわけではないことに気づかせることで、日本での共通語はあくまでも日本語、ただし外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」であることを知ってもらい、他者にていねいに伝えるという実践をつうじて多文化共生の基本を学んでもらいたい。

**3：本トピックをとりあげる理由**

日本では災害時の情報伝達が外国人に届きにくいということがよく指摘される。近年、多言語での情報提供は整備されつつあるが、どうしても通訳頼みということになってしまいがちである。そこで、「やさしい日本語」をつうじて、だれもが外国人とコミュニケーションできるスキルをもつことが必要であると考え。

## 4 : 活動過程

(使用時間 : 90分 参加人数 : )

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	予想される反応・その他、注意事項
導入 : 起 (15分)	テーマの紹介	多文化共生ということばの説明	本ワークショップの課題の共有	スライド (PPT)	外国につながりをもつ生徒がいる場合は配慮する
	日本で暮らす外国人データの紹介	現在、日本にはどのくらいの外国人が暮らしているのか、どのような国が上位を占めているのかをクイズ形式で問う  戦後から現在までの外国人人口の推移をスライドで示し、多国籍化とともに急増している現状を伝える	アイスブレイク  データを示すことで日本社会の多文化状況を客観的に知ってもらう	スライド (PPT)	専門用語は避け、わかりやすく説明する
展開 : 承 (30分)	グループワーク 1 「外国人が増えることについてどう思いますか」	外国人が増えることについてどう思うかという議論をグループで行い、グループの意見を発表する	多文化共生への期待とともに、コミュニケーションへの不安も引き出す	模造紙 ポストイット B4 用紙 筆記用具	期待と不安の両方の意見をバランスよく取り出す
	「やさしい日本語」の紹介	コミュニケーションへの不安を解消するためのツールとしての「やさしい日本語」の発想をいくつかの英単語を例に紹介する (たとえば abolish = do away with など)	ここでは多くの外国人が英語を母語としていないことに気づかせ、日本語でわかりやすく伝えることの重要性を知ってもらう	スライド (PPT)	高校レベルの英単語でも中学レベルの単語でいいかえられることを強調する

発展 : 転 (35分)	休憩  やさしい日本語の 動画の紹介	やさしい日本語につい てより詳しい理解を促 すために、4分程度の 動画を見てもらう。	やさしい日本語 が使われている 背景についてよ り詳しく知って もらう	スライド (PPT)	あまり介入せ ず、生徒たち の自由な発想 を尊重する
	グループワーク 2	外国人にとってむず かしい行政文書や災 害情報をグループご とに「やさしい日本 語」に翻訳し全体発表 する	やさしい日本語 を実際に使って みることで、相 手にわかりやす く伝えることを 体験してもらう	B4 用紙 筆記用具	
まとめ : 結 (10分)	感想	何人かの生徒に「やさ しい日本語」への翻訳 をつうじて感じたこ とを発表してもらう	相手に伝えよう とする意志が多 文化共生の基礎 であることに気 づいてもらう		

## 5 : 会場のセッティング

5~6人の班をつくってグループワークを行いたいと思っています。机があればメンバーで囲めるような配置でもかまいませんが、机に高低差がある場合は直接床に座って作業ができるような配置でもかまいません。

## 6 : 使用する教材

## 7 : 参考にした資料

## 8 : その他

外国につながりをもつ児童がいらっしゃる場合はお知らせください。